

該当する欄に○印を記入してください。

2	法定	自主
	○	

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 15日

神奈川県知事 殿



提出者

住 所 東京都渋谷区渋谷1-16-14

氏 名 東急建設株式会社都市開発支店
常務執行役員支店長 落合 好憲
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-5466-5120

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東急建設株式会社都市開発支店		自主管理番号 (2909)
事業場の所在地	東京都渋谷区渋谷 1-16-14		TEL(連絡先): 03-5466-5120
計 画 期 間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日(1年間)		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 総合工事業		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	238 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	560人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・産業廃棄物発生フロー (別表-1) 参照 ・処理等工程図 (別表-2) 参照		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

・建設副産物対策管理組織図 (別表-3)

・作業所は、廃棄物責任者(作業所長又は常駐する上位の社員とする)を定め、建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。

・現業部門社員を対象とし、昇格に伴う年次研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。

(研修内容)・経営上の方針、計画、目標について・適正な分別、保管について・ルール及び社員の役割について・関係法令の概要について

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	9 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	3,417.1 t	
	(これまでに実施した取組)		
	・廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目を実施(プレハブ化、ユニット化、パネル化、プレカット化等の推進)(鋼製型枠・樹脂型枠、デッキプレート等の使用)(分別の徹底による有価物の売却等)(広域認定、再生利用指定制度の積極活用)(新規リサイクルートの開拓)		
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	t	
	(今後実施する予定の取組)		
	・メーカーリサイクルである広域認定制度の利用促進 ・建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組み推進(納入時の荷姿、梱包材の簡略化、可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制)		

産業廃棄物の分別に関する事項

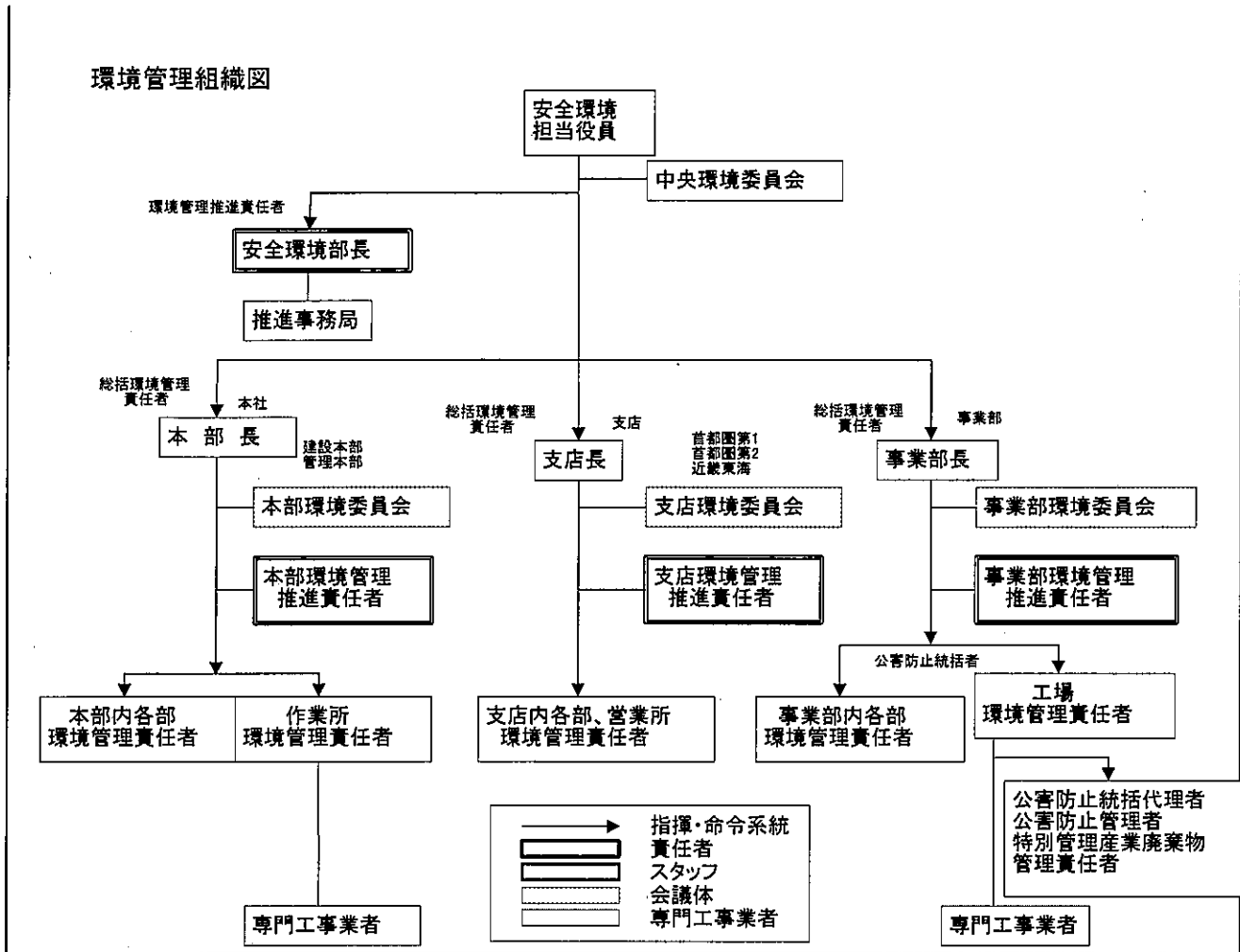
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
① 現状	・重点分別品目の設定(金属くず、木くず、ダンボール、廃プラスチック類、紙くず、コンガラ、石膏ボード、塩ビ、その他がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず)等を設定して分別している。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	・重点分別品目の設定(金属くず、木くず、ダンボール、廃プラスチック類、紙くず、コンガラ、石膏ボード、塩ビ、その他がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず)等を設定して分別していく。

別表1 産業廃棄物発生フロー

別表2 処理等工程図

		中間処理		最終処分・再生利用
建設汚泥	→	脱水・固化	→	再資源化 最終処分(埋立)
がれき類	→	破碎	→	再資源化
ガラス陶磁器	→	破碎	→	再資源化 最終処分(埋立)
廃プラスチック	→	破碎・圧縮	→	再資源化 最終処分(埋立)
木くず	→	破碎・圧縮	→	再資源化
金属くず	→	破碎・圧縮	→	再資源化
廃油	→	中和	→	再資源化
紙くず	→	破碎・圧縮	→	再資源化
混合廃棄物	→	破碎・焼却・圧縮	→	再資源化 最終処分(埋立)

別表3 管理組織図



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
・設計、施工条件が合えば、がれき類・木くず等の再生利用を行っている。			
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
・引き続き、積極的に再生利用にを努めていきたい。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
・これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。			
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
・今後も、自社で中間処理を行う予定はない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】	
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
	・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。	
② 計画	【(令和4年度)目標】	
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
	・今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	3,417.1 t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,348.3 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	3,417.1 t	
	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	t	
	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・業者選定をする際に、過去の取引実績を確認 ・複数の業者の処理料金を比較 ・委託する品目の処分方法や処分実績を確認 ・処理業者と定期的に意見交換 ・処理施設の現地確認を実施 		

② 計画	【(令和4年度)目標】		
	⑩ 全処理委託量	t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	t	
	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	t	
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		
(今後実施する予定の取組)			
・優良認定処理業者の積極活用 ・認定熱回収業者の積極活用 ・広域認定制度の利用促進 ・最終処分場の現地確認を極力実施する			
※ 事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和4年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 ※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

該当する欄に○印を記入して下さい。

		事業場名称: 東急建設株式会社都市開発支店 (単位:ト)																				
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	合計
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	繊維くず	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	その他	混合廃棄物	その他
①	排出量		1,617.5	6.0			30.0	7.4	177.4				4.1	46.4		1,519.2					9.1	3,417.1
②+	④ 自ら再生利用を行った量																					
⑤	自ら熱回収を行った量																					
⑦	自ら中間処理により減量した量																					
③+	⑤ 自ら立立処分又は海洋投入処分を行った量																					
④	全処理委託量		1,617.5	6.0		30.0	7.4	177.4				4.1	46.4			1,519.2				9.1	3,417.1	
⑩	優良認定処理業者への処理委託量			6.0		30.0	7.4	177.4				4.1	46.4			1,067.9				9.1	1,346.3	
⑪	再生利用業者への処理委託量		1,617.5	6.0		30.0	7.4	177.4				4.1	46.4			1,519.2				9.1	3,417.1	
⑫	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					
⑬	当該事業場における排出量																					
⑭	※1 自社の他事業場からの搬入量																					
⑮	② 自ら直接再生利用する量																					
⑯	③ 自ら直接立立処分又は海洋投入処分する量																					
⑰	④ 自ら中間処理する量																					
⑱	⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
⑲	※2 自社の他事業場での処理量																					
⑳	⑥ 自ら中間処理後の残存量																					
㉑	⑦ 自ら中間処理により減量する量																					
㉒	⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
㉓	⑨ 自ら中間処理後に自ら立立処分又は海洋投入処分する量																					
㉔	※3 自らの他事業場への処理量																					
㉕	㉒ 自ら中間処理後の処理委託量																					
㉖	b-1 中間処理委託量																					
㉗	再生利用前委託量																					
㉘	最終処分前委託量																					
㉙	下水等放流前委託量																					
㉚	b-2 最終処分委託量																					
㉛	B 直接処理委託量																					
㉜	B-1 中間処理委託量																					
㉝	再生利用前委託量																					
㉞	最終処分前委託量																					
㉟	下水等放流前委託量																					
㊱	B-2 最終処分委託量																					
㊲	㉒ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量																					
㊳	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																					
㊴	⑩のうち再生利用業者への処理委託量																					
㊵	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																					
㊶	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					

別紙一添書

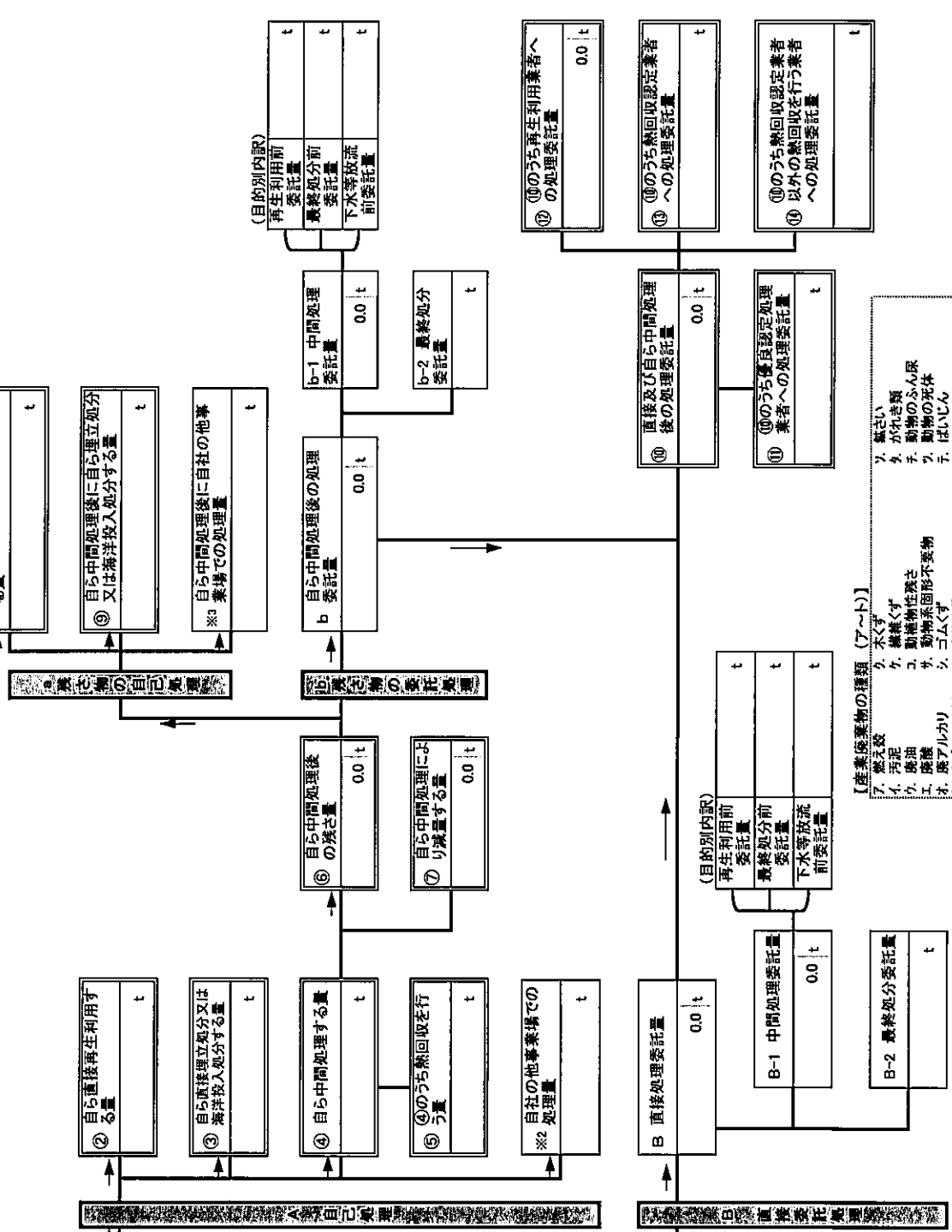
令和4年度目標

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

1. 汚泥
 フローに記載した産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
 (単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和3年度実績を記載していただき、なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	1,617.5 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,617.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,617.5 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - オ. 廃プラスチック類
 - カ. 紙くず
 - キ. 繊維くず
 - ク. 動物性残渣
 - コ. 動物系固形不燃物
 - サ. ゴムくず
 - シ. 金属くず
 - ス. 廃ガラス
 - セ. ガラス・セラミックス・陶磁器くず
 - ソ. 織物
 - タ. 繊維
 - チ. 動物のふん尿
 - テ. 動物の死体
 - ト. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

該当する欄に○印を記入してください。
 2-2 法定 自主

事業場名称 : 東濃建設株式会社 都市開発支店

産業廃棄物処理計画書

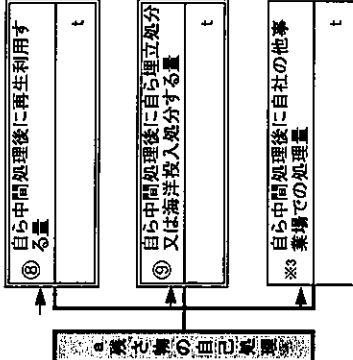
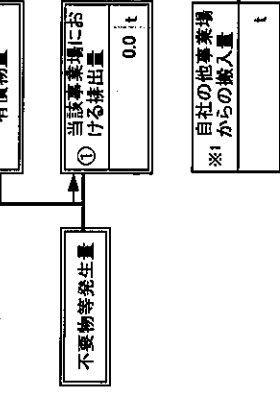
別紙処理プロセス

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理プロセスは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

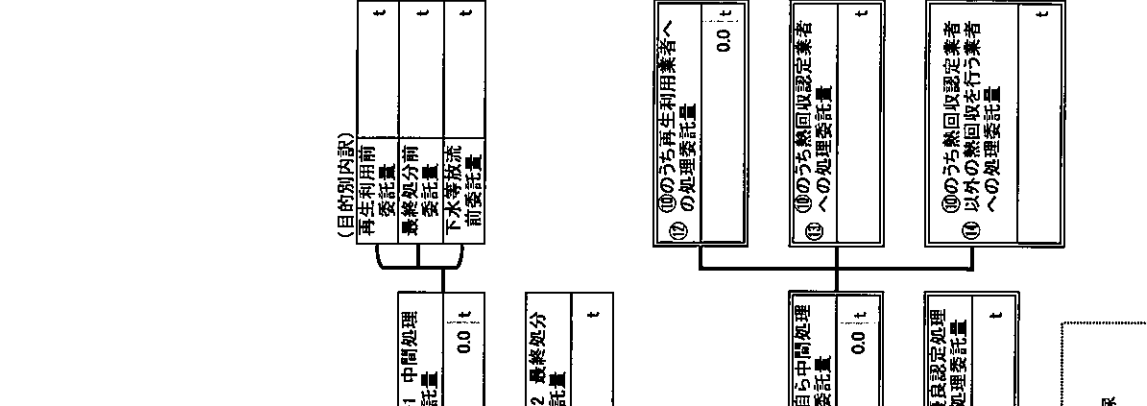
項目	令和3年度実績
① 排出量	6.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	6.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	6.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃液
 - オ. アルカリ
 - カ. 酸くず
 - ク. ぬい
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残渣
 - サ. 動物の死体
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. 廃プラスチック類
 - ソ. ぬい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

該当する欄に○印を記入してください。

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称： 東海建設株式会社 藤市岡支店



項目	令和3年度実績
⑯のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑰のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
⑱のうち熱回収を行う業者への処理委託量	t

産業廃棄物処理計画書

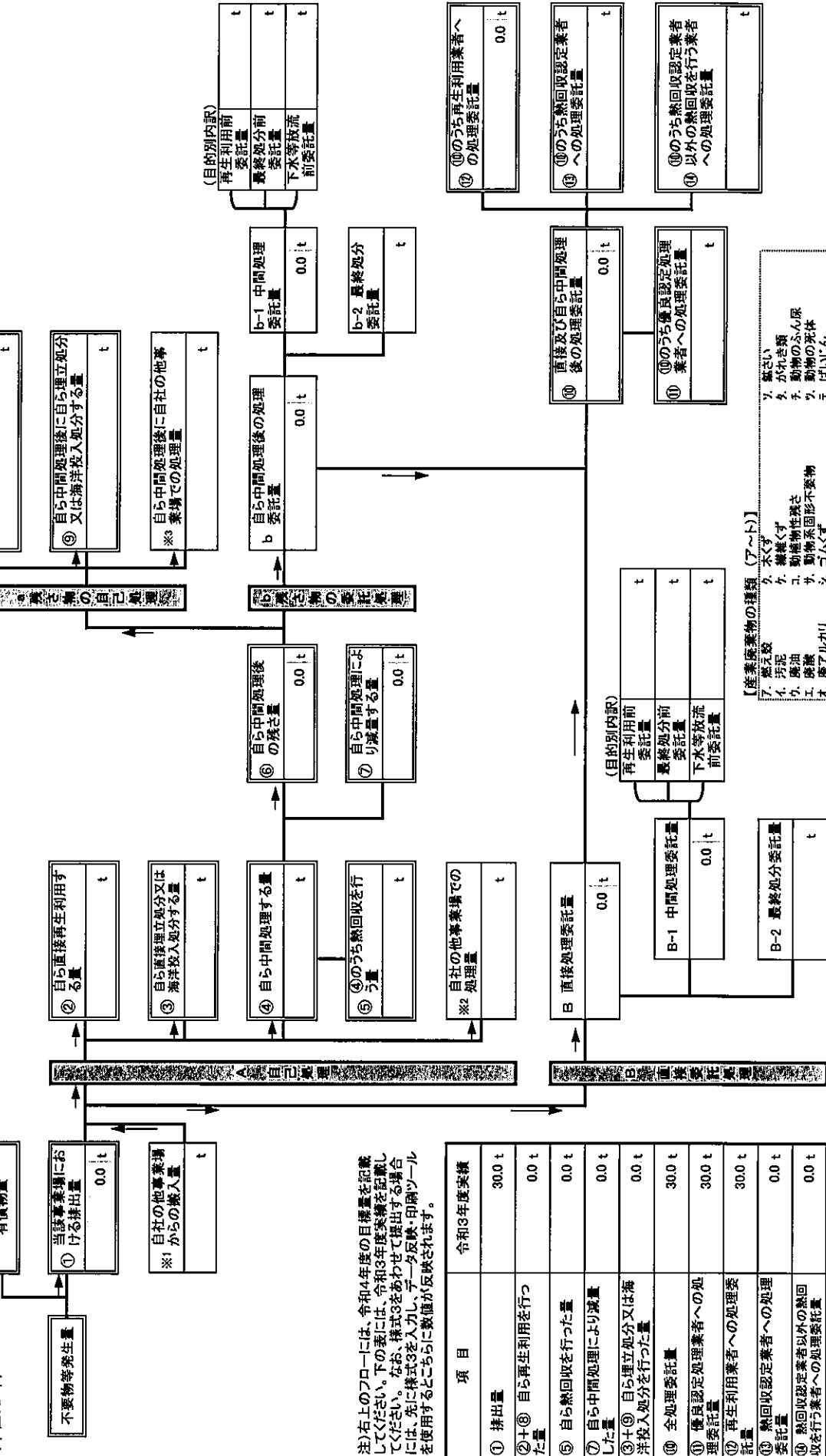
別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
カ、廃プラスチック類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	30.0 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑨ 全処理委託量	30.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	30.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	30.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃液
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - カ. 動物の死体
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 灰だい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - リ. 動物の死体
 - ハ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

該当する欄に○印を記入してください。

2-2	法定	自主
		○

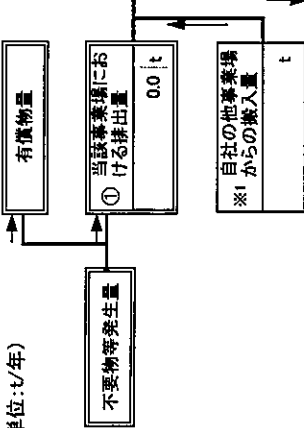
事業場名称 : 東武建設株式会社横浜市開発支店

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【注】右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してあります。下の表には、令和3年度実績を記載してあります。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

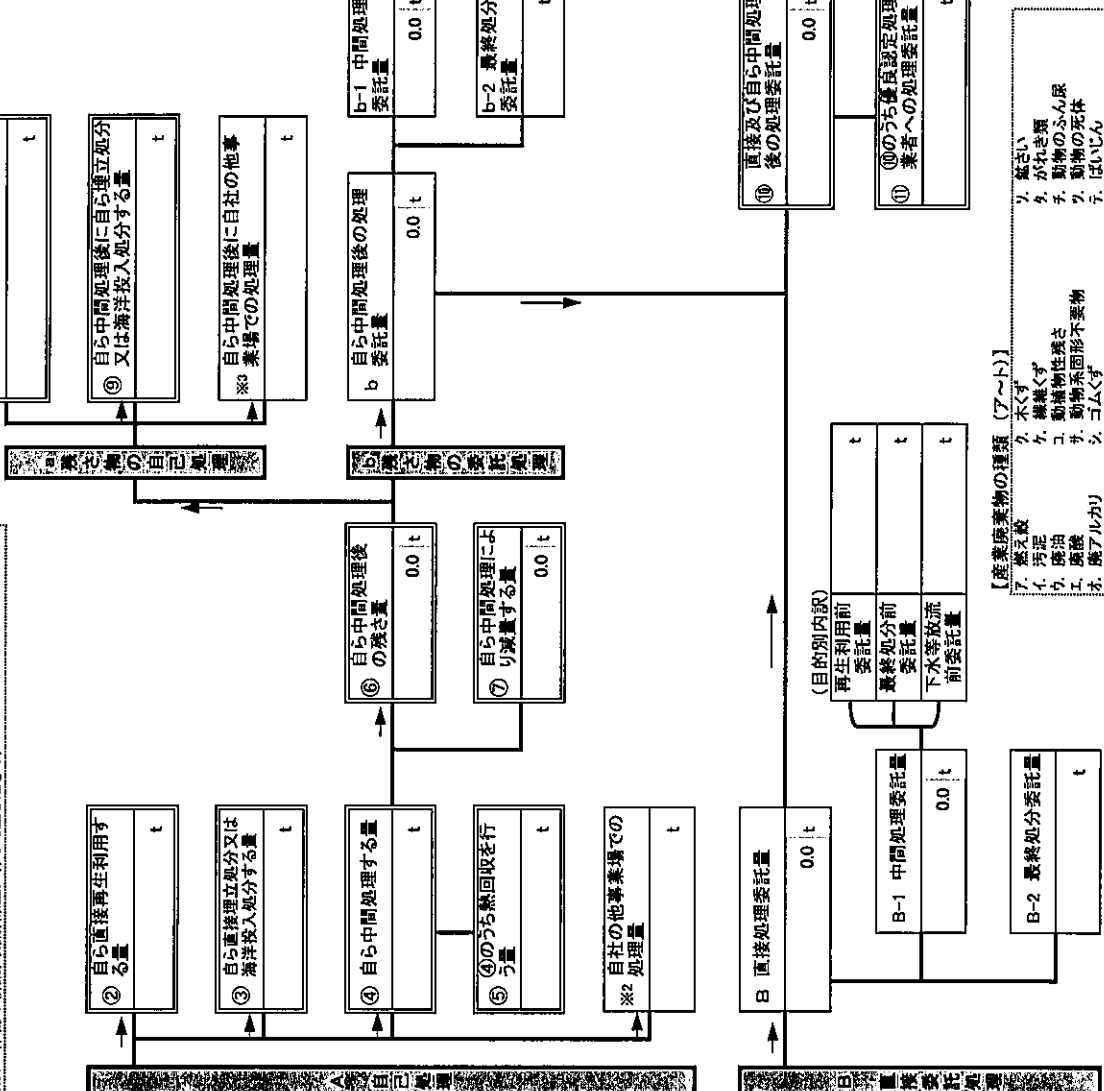


項目	令和3年度実績
① 排出量	7.4 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	7.4 t
⑩ 全処理委託量	7.4 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	7.4 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	7.4 t
⑩ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
2-2 法定 自主

事業場名称：東京建設株式会社都市開発支店

【注】右側のフローには業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【注】業種ナリプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞地取紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製木業、印刷物加工業、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ウ. 廃油
エ. 廃液
オ. 廃アルカリ
カ. 紙くず
ク. 繊維くず
ケ. 動物性脂肪
コ. 動物性残渣
サ. 動物系回形不燃物
シ. コムくず
ス. 金属くず
セ. ガラス・セラミックス類
ソ. 磁さい
タ. がれき類
チ. 動物のふん尿
ツ. 動物の死体
テ. ばいじん
ト. 混合廃棄物その他

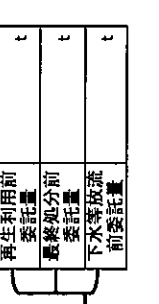
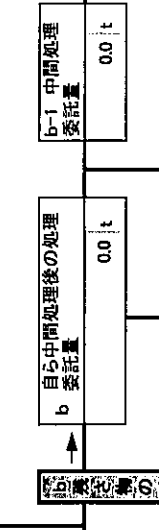
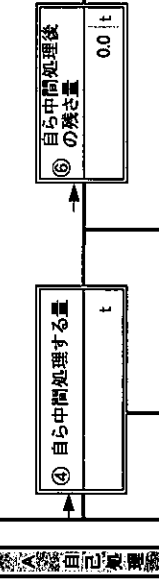
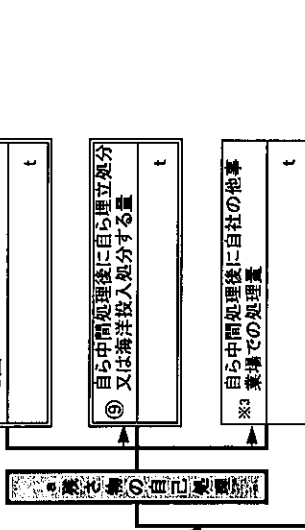
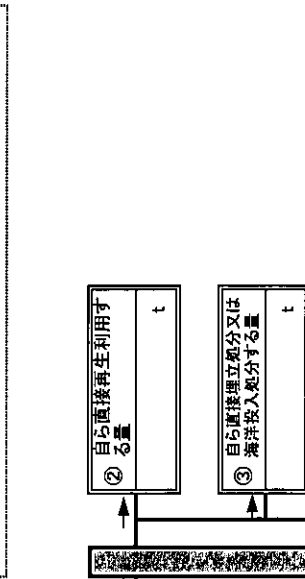
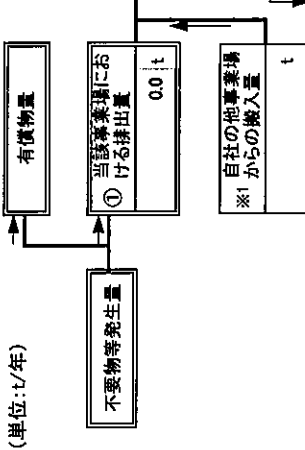
産業廃棄物処理計画書

事業場名称： 東急建設株式会社 横浜市開発支店

別紙処理フロー—
令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【本欄に記載した産業廃棄物の種類】 ク、木くず
 フローに記載した産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとの目標量と処理計画を記載しています。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

【木くずには業種特定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。該当業種は木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買入業に係るもの、建設業(工作物の取壊、取壊、除去に伴って生じたもの)、多量種別産業廃棄物の流通のために使用したパレット(パレットへの廃物の積付けのために使用したこん包用の木枠を含む。)



注)右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	177.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	177.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	177.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	177.4 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - オ. 廃プラスチック類
 - カ. 紙くず
 - キ. 繊維くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 有機性廃棄物
 - コ. 動物性残渣
 - サ. 動物系固形不燃物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

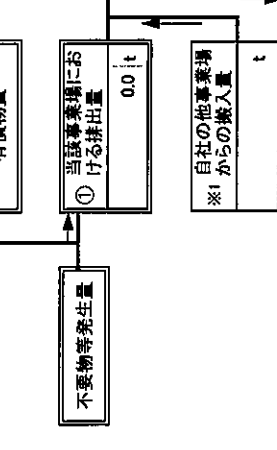
別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚数の記載が可能です。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



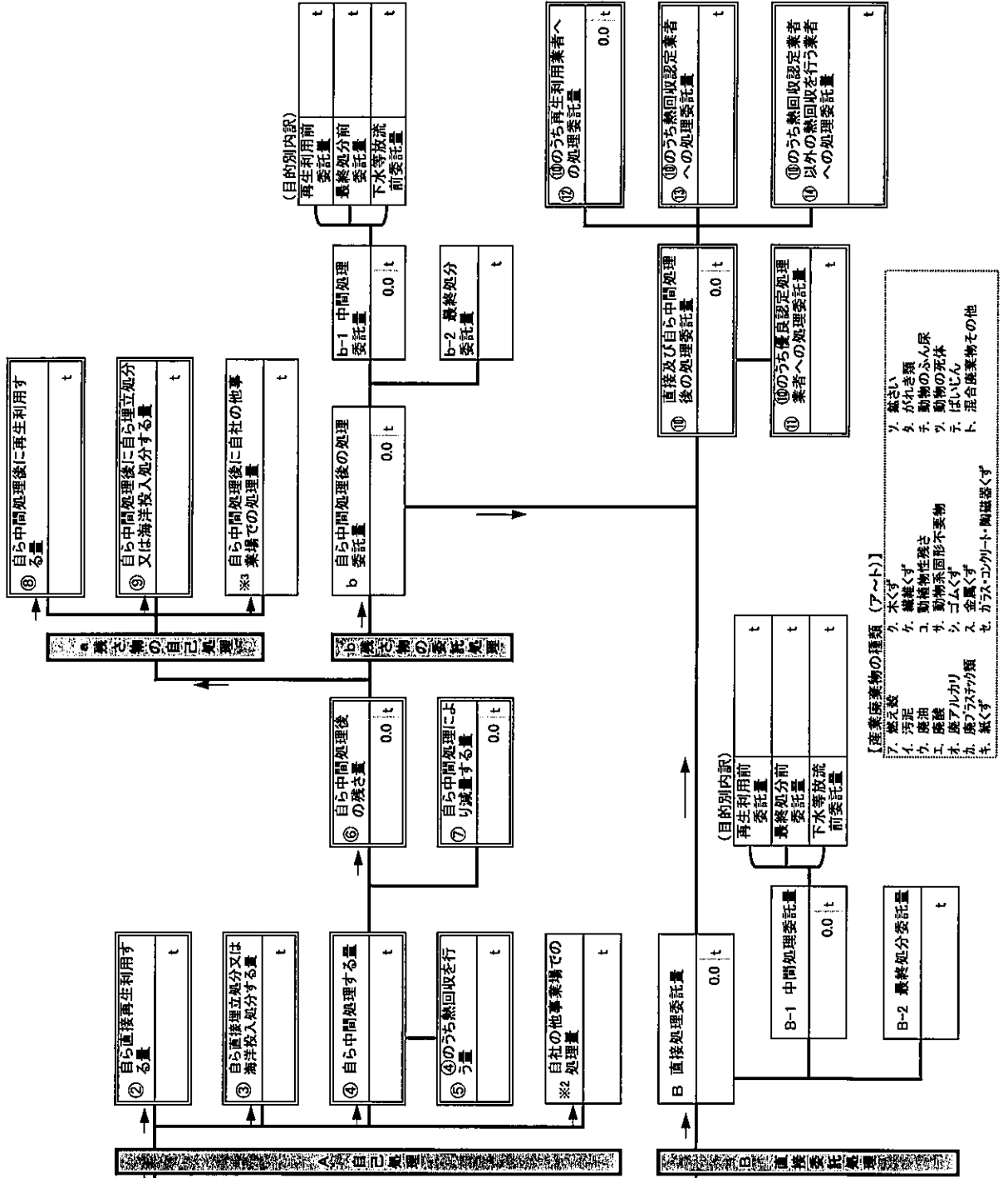
注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	4.1 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t
⑧+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑨ 全処理委託量	4.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	4.1 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	4.1 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称: 東海建設株式会社 都市開発支店



- 【産業廃棄物の種類 (アーク)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - ク. 動物の死体
 - ケ. 動物の糞
 - コ. ゴムくず
 - セ. 金属くず
 - ソ. カラス・コンクリート・陶磁器くず
 - シ. 灰
 - タ. 灰じん
 - チ. 混合廃棄物その他

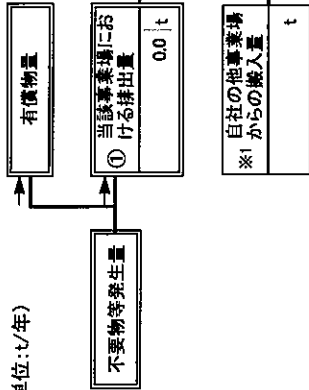
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業 せ、ガラス・コンクリート・陶磁器く
産業物の種類
※ 本用紙は産業物の種類ごとに1枚の記載がなっています。異なる廃
棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

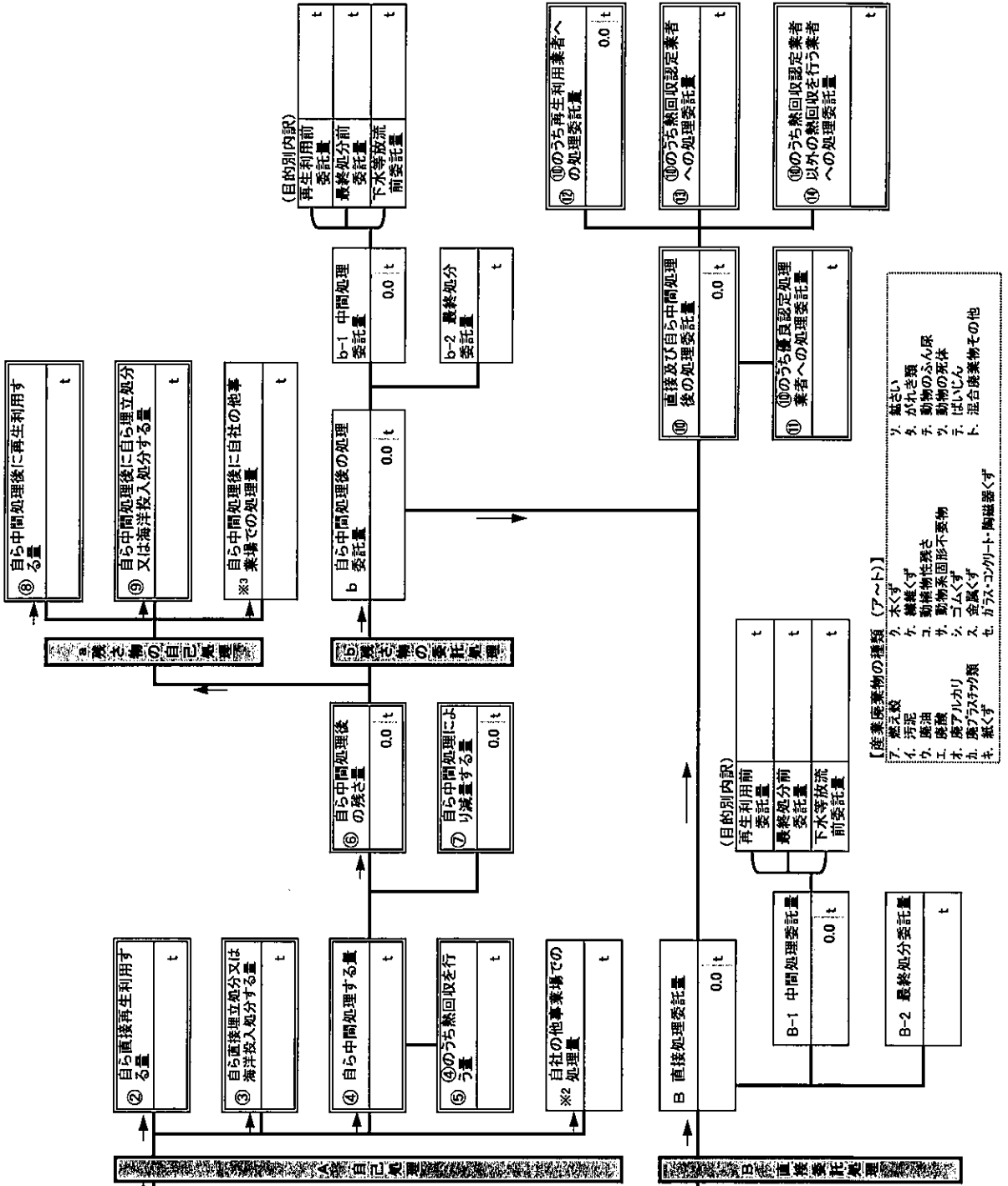


注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	46.4 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら焼回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	46.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	46.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	46.4 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
2-2 法定 自主

事業場名称 : 東京建設株式会社 都市開発支店



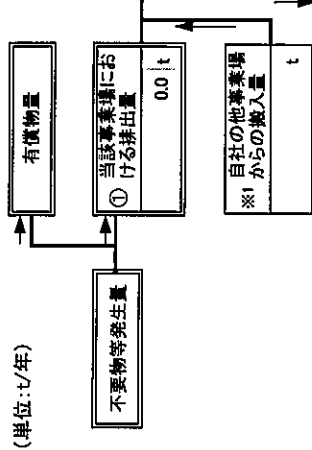
- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃プラスチック類
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残渣
 - ク. 動物性脂肪
 - ケ. 動物の死体
 - コ. ばいじん
 - サ. ゴムくず
 - シ. 金属くず
 - ス. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - セ. 紙くず
 - ソ. 磁さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
 (単位: t/年)

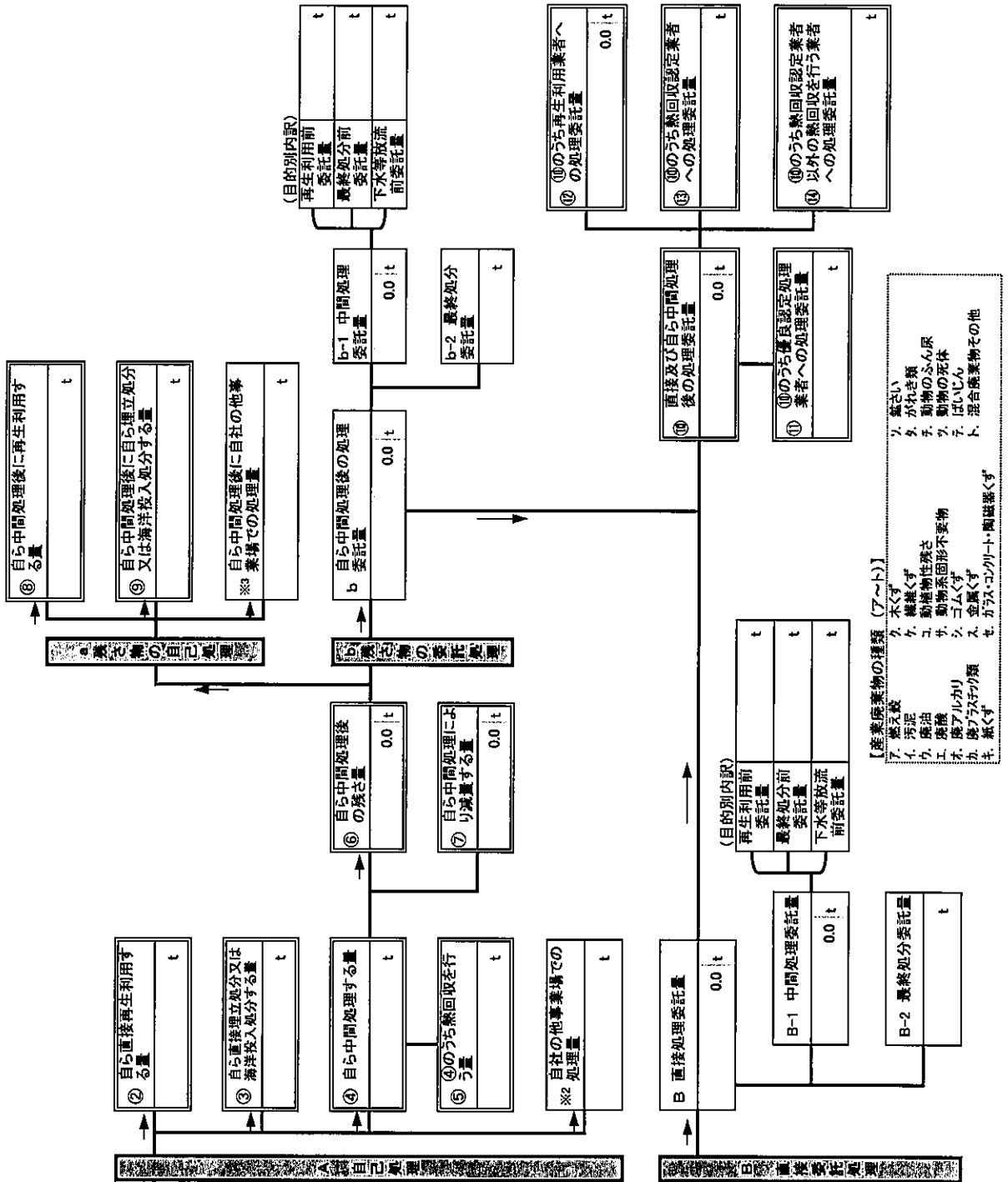


注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してごください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	1,519.2 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理した量	0.0 t
③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,519.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,067.9 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	1,519.2 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
 2-2 法定 自主

事業場名称: 東急建設株式会社都市開発支店



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - カ. 焼アスファルト類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 動植物性残渣
 - コ. 動物系固形不要物
 - サ. ゴムくず
 - シ. 金属くず
 - ス. 廃プラスチック類
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 窯さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は産業廃棄物の種類ごとの記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

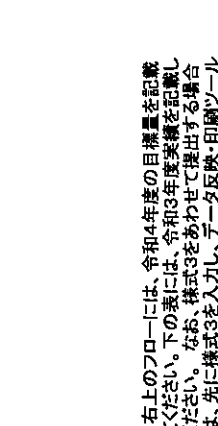
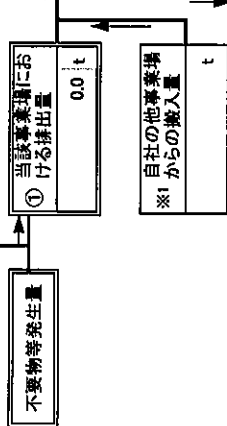
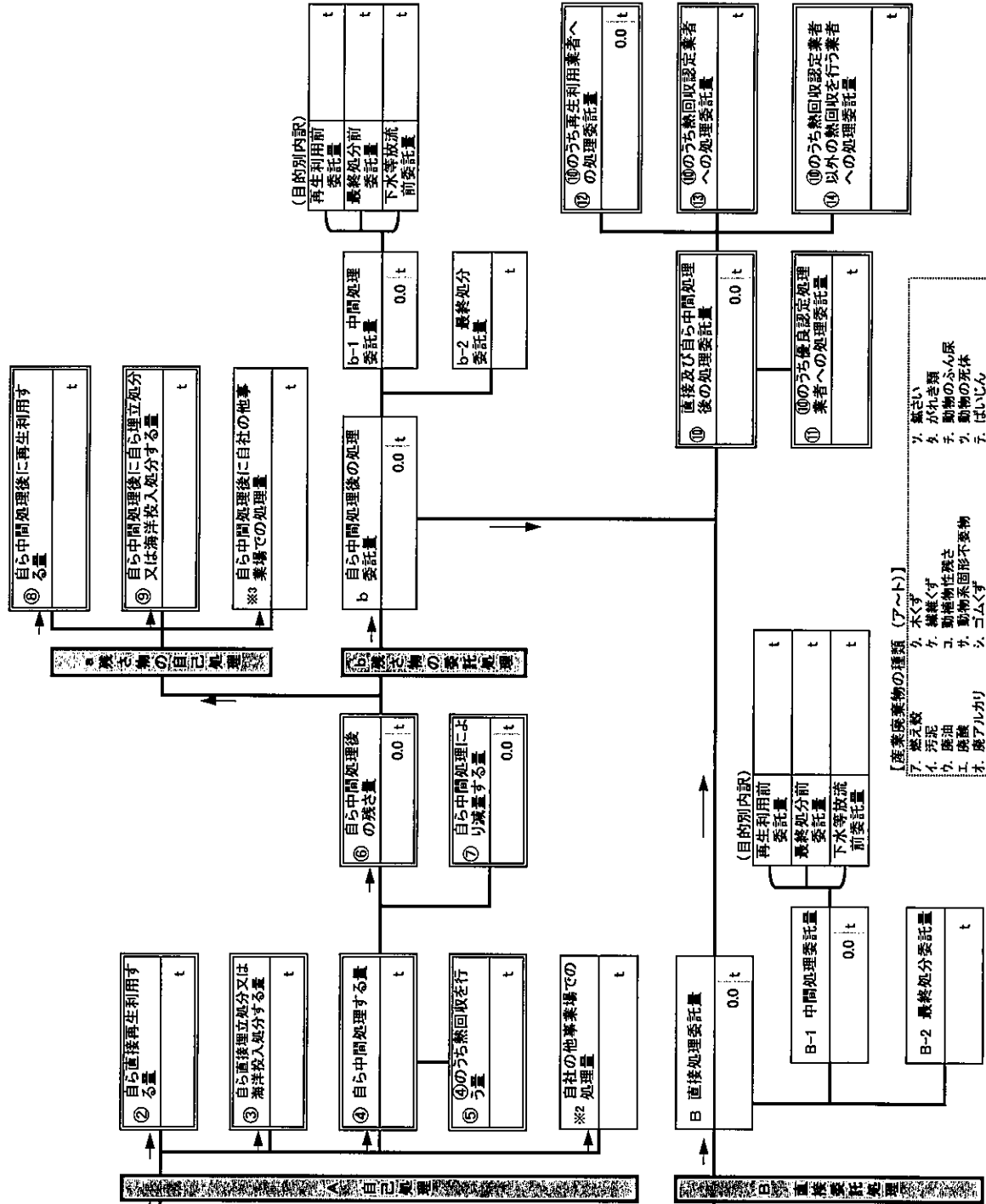


Table with 2 columns: Item (項目) and FY2022 Actuals (令和3年度実績). Rows include ① 排出量, ②+④ 自ら再生利用を行った量, ⑤ 自ら熱回収を行った量, ⑦ 自ら中間処理により減量した量, ⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量, ⑪ 全処理委託量, ⑫ 優良認定処理業者への処理委託量, ⑬ 再生利用業者への処理委託量, ⑭ 熱回収認定業者への処理委託量, ⑮ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量.

注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

表: 該当する欄に○印を記入してください。 2-2 法定 自主

事業場名称: 東京建設株式会社都市開発支店



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ウ. 廃油
エ. 廃アルカリ
オ. 廃プラスチック類
カ. 紙くず
ク. 繊維くず
ケ. 動物性残渣
コ. 動物系固形不変物
サ. ゴムくず
シ. アルミくず
ス. 金属くず
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
ソ. 紙くず
タ. じんきょう
チ. 動物のふん尿
ツ. 動物の死体
テ. ばいじん
ト. 混合廃棄物その他